

須知高校生のみなさんへ

令和3年度 第2学期終業式 式辞

長かった約4ヶ月の2学期がようやく終了し、明日から冬休みが始まります。2学期は須高祭（文化の部）や須高感謝祭など実施できなかった行事もありましたが、生徒・保護者のみなさんの協力により、須高祭（体育の部）、創立記念講演会、研修旅行や校外学習など多くの行事を無事に実施することができました。みなさんの協力に感謝しています。

さて、2020年1月に日本で最初に新型コロナウイルスの感染が確認されてから約2年が経とうとしています。この2年間は、ほとんどの期間が「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」が発令されていたので、みなさんの生活をはじめ、学校生活にも大きく影響しました。しかし、9月末で緊急事態宣言が解除されてからは、感染状況も落ち着き、少しずつ改善され、様々な活動ができるようになり、明るい兆しが見えてきました。しかし、これからの季節は通常のインフルエンザが流行する期間にもなり、諸外国では新型コロナウイルスの再流行も出てきていますので、手洗い・うがいの励行をはじめ、日頃の感染防止に努めるよう、引き続き協力をお願いします。

終業式にあたり、皆さんには、男女の愛を描いた小説や説法で知られ、作家で僧侶でもあり、今年の11月に99歳でお亡くなりになりました瀬戸内寂聴<sup>せとうちやくちよう</sup>さんの言葉を紹介します。

「念ずれば花開く」という言葉があります。私は何かをするとき、必ずこれは成功するという、いいイメージを思い描くようにしています。

生徒のみなさんも、それぞれ自分の夢があると思います。その夢に向かって、今、何をしなければならないのかを考えながら努力して生活していると思いますが、自分の将来をぼんやりでもいいので、イメージできるよう、冬休み中に今年の1年間を振り返り、来年の抱負や将来について、ゆっくり家庭で話し合っ<sup>て</sup>欲しいと思います。

結びに、良い年末年始を過ごして元気な姿で3学期に再会できることを楽しみにしています。

令和3年12月20日

須知高校 校長 湯川 佳秀